

6 学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

6-1 学科・専攻等の名称

	学科名	修業年限	取得単位	取得可能な学位
美術学部	美術学科	4年	124	学士（美術）
研究科	複合芸術研究科	2年	30	修士（美術）

6-2 学位授与方針（ディプロマポリシー）

<p>学士（美術）</p> <p>卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、次のような人材を育成する。</p> <p>(1) 従来の芸術を理解し、それを新しい芸術として再創造できる人材</p> <p>(2) 文化の多様性を受け容れ、芸術において異文化と共存できる人材</p> <p>(3) グローバルな視野に立ち、国際的な舞台に挑戦できる人材</p> <p>(4) 芸術の新しい知見によって、地域社会の発展に貢献できる人材</p>
--

6-3 成績評価

<p>教育の質を確保する観点から、国際的に通用し、公平性・透明性に優れた基準であるGrade Point Average(評定平均値。以下「GPA」とする。)制度を全学的に導入する。</p> <p>GPAは成績を数値化して成績を評価するため、定期試験等の成績評価を秀～不可、および不合格で表示し、「不可」と「不合格」に単位を与えないものとする。</p> <p>成績は、「秀」「優」「良」「可」及び「不可」をもって表し、「秀」「優」「良」「可」を合格とする。「秀」は100点～90点、「優」は89点～80点、「良」は79点～70点、「可」は69点～60点。「不可」は60点未満を表す。</p> <p>なお、GPAの計算方法と授業科目の成績に基づくGP(グレードポイント)は次のとおりである。このGPは、大学において今後学生の成績に係る判断に使用するものとする。</p> <p>○各授業科目の成績に基づくGP（グレードポイント）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>成績</th> <th>GP(グレードポイント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td>90点以上</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>80～89点</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>不可 (不合格)</td> <td>60点未満</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不合格</td> <td>受験資格の喪失 (出席数不足等)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合格</td> <td>大学で認めた評価</td> <td>GP対象外</td> </tr> </tbody> </table>	評価	成績	GP(グレードポイント)	秀	90点以上	4.0	優	80～89点	3.0	良	70～79点	2.0	可	60～69点	1.0	不可 (不合格)	60点未満	0	不合格	受験資格の喪失 (出席数不足等)	0	合格	大学で認めた評価	GP対象外
評価	成績	GP(グレードポイント)																						
秀	90点以上	4.0																						
優	80～89点	3.0																						
良	70～79点	2.0																						
可	60～69点	1.0																						
不可 (不合格)	60点未満	0																						
不合格	受験資格の喪失 (出席数不足等)	0																						
合格	大学で認めた評価	GP対象外																						

○GPAの計算方法

GPA = (GP × 履修登録した当該科目の単位数) の総和 / 履修総単位数

GPAの対象となる科目は、原則として、次の①②③以外の授業科目とする。

①成績評点を付さず「合」・「否」等で評価する科目（合否判定科目等）

②自由科目

③編入学又は転入学した際の単位認定科目、本学に入学前に修得した単位認定科目など（ただし、秀、優、良、可、不可の評価をつけて単位認定された場合は、通算GPAに参入する。）

出席不足による不合格のGPは0であり、科目自体はGPAにカウントされるため、注意すること。

6-4 進級要件

3年次に進級するためには、2年次の終了時点で60単位以上（自由科目を除く。）を修得することが必要である。

また、卒業研究を履修するためには、4年次の前期終了時点で100単位以上（自由科目を除く）修得することが必要である。

6-5 専攻の選択について

(1) 1年次は、現代芸術論1および同2の履修を通じて、5専攻すべての理念を、講義を中心とした授業で学習する。

(2) 原則として現代芸術論1および同2の単位修得後(もしくは修得見込後)、2年次前期から現代芸術演習2科目以上を履修する。

(3) 現代芸術演習の履修には、成績および本学が定めた方針に基づき選抜を行う。

(4) 現代芸術演習および専攻ごとの受入人数は、年度によって学生数が異なるため、以下の人数を基準に調整する。現代芸術演習は、1人の学生が2つ以上の授業を履修するため、それぞれの専攻の受入人数の2倍の人数がおおよその履修定員となる。

○専攻ごとの受入人数の基準(増減する場合がある。)

・アーツ&ルーツ専攻	10人
・ビジュアルアーツ専攻	25人
・ものづくりデザイン専攻	25人
・コミュニケーションデザイン専攻	30人
・景観デザイン専攻	10人

(5) 最終的な所属専攻は、現代芸術演習の履修とは別個に、各専攻から選択する。

(6) 最終的な所属専攻は、成績および本学が定めた方針に基づき決定する。

(7) 現代芸術演習は、選択によって履修が決定した以外の科目を次年度以降に履修することはできない。

6-6 卒業要件

本学学科を卒業するためには、4年以上（3年次編入生は2年以上）在学し、かつ、卒業必要単位数一覧表に定める単位を修得することが必要である。

卒業必要単位数一覧

科目区分	科目群	科目群卒業要件	卒業要件
教養科目	人間と社会	8単位以上	24単位以上 ※1
	情報		
	保健体育		
	歴史と文化	6単位以上	
	外国語	8単位以上	
キャリア教育科目		10単位以上	10単位以上
専門科目	総合科目	12単位以上	56単位以上 ※2
	導入科目	12単位以上	
	美術理論・美術史科目	12単位以上	
	専門基礎科目	14単位以上	
	専門専攻科目	各専攻で指定する24単位以上 ※3※4	34単位以上
	(卒業研究)	各専攻の卒業研究10単位	
合計			124単位以上 ※5

※1 教養科目中の卒業要件は24単位以上のため、同科目区分中の各科目群の合計22単位との差2単位は、教養科目区分中の選択していない科目を選択すること。

※2 専門科目区分についても※1と同様に差の6単位は専門科目から選択。

※3 ものづくりデザイン専攻は、ものづくりデザイン演習1および同演習2の各科目からそれぞれ2科目ずつ選択。

※4 コミュニケーションデザイン専攻は、コミュニケーションデザイン演習2(A、B)および同演習3(A、B)からそれぞれ1科目を選択。

※5 「教職課程科目」および「博物館学芸員科目」は自由科目であり、卒業要件の科目には含まない。

6-7 学位授与方針（ディプロマポリシー）

修士（美術）

本研究科の修了に際しては、以下の能力を備えることを基準とする。

- (1) 異なる分野と複合させながら既存の枠にとらわれない新しい芸術を探求する能力
- (2) 現代社会の動向や地域特性を捉え、美術・デザインの方法論を通じて、問題解決へつなげる具体的な提案ができる能力
- (3) グローバルな視野を持ちながら現代芸術領域の研究や実践を評価・検証し、その成果を発信する能力

6-8 成績評価

教育の質を確保する観点から、国際的に通用し、公平性・透明性に優れた基準であるGrade Point Average(評定平均値。以下「GPA」とする。)制度を全学的に導入する。

GPAは成績を数値化して成績を評価するため、定期試験等の成績評価を秀～不可、および不合格で表示し、「不可」と「不合格」に単位を与えないものとする。

成績は、「秀」「優」「良」「可」及び「不可」をもって表し、「秀」「優」「良」「可」を合格とする。「秀」は100点～90点、「優」は89点～80点、「良」は79点～70点、「可」は69点～60点。「不可」は60点未満を表す。

なお、GPAの計算方法と授業科目の成績に基づくGP(グレードポイント)は次のとおりである。このGPは、大学において今後学生の成績に係る判断に使用するものとする。

○各授業科目の成績に基づくGP（グレードポイント）

評価	成績	GP(グレードポイント)
秀	90点以上	4.0
優	80～89点	3.0
良	70～79点	2.0
可	60～69点	1.0
不可 (不合格)	60点未満	0
不合格	受験資格の喪失 (出席数不足等)	0
合格	大学で認めた評価	GP対象外

○GPAの計算方法

GPA = (GP × 履修登録した当該科目の単位数) の総和 / 履修総単位数

GPAの対象となる科目は、原則として、次の①②③以外の授業科目とする。

①成績評点を付さず「合」・「否」等で評価する科目（合否判定科目等）

②自由科目

③編入学又は転入学した際の単位認定科目、本学に入学前に修得した単位認定科目など（ただし、秀、優、良、可、不可の評価をつけて単位認定された場合は、通算GPAに参入する。）

出席不足による不合格のGPは0であり、科目自体はGPAにカウントされるため、注意すること。

6-9 修了要件

本研究科を修了するためには、2年以上在学し、所定の授業科目を修得し、および別に定めるところにより30単位以上の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文または修士制作および修士制作報告書の審査および試験に合格することが必要である。